

治水・治山・海岸

昭和45年度は治山治水事業5か年計画（第三次）の3年目にあたるのと同時に、海岸事業5か年計画の初年度にあたり、その事業予算は、治水事業2692億円・治山事業521億円（民有林414億円・国有林107億円）・海岸事業342億円の規模であった。

直轄河川改修事業としては、新たに一級水系に指定された新宮川等を含めて127河川について実施し、利根川等の重要河川、中川等の都市河川、大淀川等の災害河川の改修工事を進めた。このほか三郷導水路を利用する中川の浄化事業、多摩川等11河川の河道整備事業を実施した。補助河川改修事業については、中小河川549河川・小規模河川633河川・局部改良1190か所・都市小河川37河川について実施し、研究学園都市関連・成田新空港関連・多摩ニュータウン関連の諸河川や、都市河川・災

名 称	デ テ ー タ
篠津川(石狩川)排水機場新設工事 (篠津ポンプ)	事業実施箇所：北海道江別市篠津 事業主体：北海道開発局 工事期間：昭和44.9.7～46.9.3 事業予算：5億1000万円（うち、土木/建築2億8000万円・ポンプ2億1000万円・ダストスクレーパー1000万円・ゲート1000万円） 施工業者名：岩田建設・豊平製鋼・久保田鉄工
筑川(名取川)放水路工事 (筑川放水路)	事業実施箇所：宮城県仙台市大野田 事業主体：建設省東北地建 工事期間：昭和42.10.20～47.3.20 事業予算：8億6000万円 施工業者名：株木建設・川田工業・東日本鉄鋼
芝川(荒川)水門改築工事	事業実施箇所：埼玉県川口市飯塚町 事業主体：建設省関東地建 工事期間：昭和44.7.18～47.3.25 事業予算：8億4000万円（うち、土木7億円・ゲート1億4000万円） 施工業者名：大林組・石川島播磨重工業
田川(鬼怒川)放水路工事	事業実施箇所：栃木県小山市田川 事業主体：建設省関東地建 工事期間：昭和43.7.31～47.10.30(予定) 事業予算：8億7000万円（うち、可動堰1億9000万円・水門、樋門6000万円・橋梁7000万円・築堤、護岸5億5000万円） 施工業者名：銭高組・武藤建設・栗本鉄工所
関屋分水路(信濃川下流)工事	事業実施箇所：新潟県新潟市関屋町 事業主体：建設省北陸地建 工事期間：昭和40.4.1～51.3.31(予定) 事業予算：190億円 堰総幅員：218m(純支間41.2m・鋼製ローラーゲート5門) 施工業者名：鹿島建設・石川島播磨重工業
戸坂川(太田川)排水機場新設工事 (戸坂排水ポンプ場)	事業実施箇所：広島県広島市戸坂町 事業主体：建設省中国地建 工事期間：昭和44.9.9～46.2.28 事業予算：3億2000万円（うち、土木建築1億4000万円・ポンプ9000万円・その他9000万円） 施工業者名：三井建設・荻原製作所・丸島水門製作所
岩屋谷川(吉野川)排水機場新設工事 (岩屋谷ポンプ)	事業実施箇所：徳島県麻植郡山川町 事業主体：建設省四国地建 工事期間：昭和44.10.18～46.5.31 事業予算：1億8000万円(うち、土木建築1億1000万円・ポンプ5000万円・ゲート2000万円) 施工業者名：五洋建設・西島製作所・酒井鉄工所
菰入水門(菊池川)新設工事	事業実施箇所：熊本県菊池郡七城町 事業主体：建設省九州地建 工事期間：昭和44.11.9～47.3.25 事業予算：1億4000千万円(うち、土木1億1000千万円・ゲート3000千万円) 施工業者名：飯田建設・栗本鉄工所
知津狩川放水路(暫定通水)	事業実施箇所：北海道厚田郡厚田村字知津狩 事業主体：北海道 工事期間：昭和40.4～46.12 事業予算：4億円 築堤：56000m ³ (3500万円) 掘削：112000m ³ (1900万円) 護岸：3380m ³ (1億2800万円) 橋梁：7か所(1億600万円) 防潮堰：1か所(2500万円) サイフォン：1か所(1100万円) 施工業者名：北成建設・北海道PSコンクリート
東京高潮対策事業 (日本橋水門)	事業実施箇所：東京都中央区茅場町1丁目地先 事業主体：東京都 工事期間：昭和45.10.17～47.3.31 事業予算：3億4000万円 水門諸元：<外水位>最高潮位A.P+5.50m・最低潮位A.P+0.50m、<内水位>最高潮位A.P+3.50m・最低潮位A.P+1.50m、<門扉>ローラーゲート15.0m×8.1m2門 施工業者名：清水建設・栗本鉄工所
毘陽川排水路および排水機場新設工事	事業実施箇所：兵庫県尼崎市猪名寺地先・同伊丹市御願塚地先 事業主体：兵庫県 工事期間：昭和42.4～46.7 事業予算：15億5000万円(うち、工事費10億4000万円・用地補償費4億1000万円・その他1億円) 流域面積：4.67km ² 計画流量：25m ³ /sec 排水路：コンクリートボックスカルバート高3.0m×幅3.5m×2連×延長1206m 排水機場：横軸斜流ポンプ エンジン485PS)φ1700mm(6.25m ³ /sec)×2連 施工業者名：鹿島建設(土木工事)・西島製作所(ポンプ設備)・久保田鉄工(ゲート工事)

害関連河川について大幅な事業の促進を行なった。

河川総合開発事業としては、直轄29事業を推進して名取川釜野ダム・緑川緑川ダム・天塩川岩尾内ダムを完成し、水資源開発公団事業としては15事業を実施して淀川青蓮寺ダムを完成し、補助事業では46事業の多目的ダムを実施して、蔵王ダム（山形県）・素波里ダム（秋田県）を完成した。また、治水ダムについては、新たに18事業を加えて65事業を推進した。

砂防事業については、直轄事業として利根川等25水系、補助事業としては3136溪流について、砂防ダム工・流路工等計3372か所を実施した。地すべり対策事業としては497地区、急傾斜地崩壊対策事業としては191地区について実施した。

海岸事業については、直轄事業として駿河海岸・下新川海岸等10海岸について実施し、補助事業では高潮対策事業として118か所、侵食対策事業として113か所、また局部改良事業として328か所について実施した。

概	要	特	色
篠津川は篠津運河（山地流水については昭和32年泥炭地開発事業によって開削された）により石狩川に排水されたが、石狩川と篠津運河にはさまれた流域は低平地のため、昭和37年の大水害をはじめ毎年内水氾濫被害を受けていた。篠津川排水機場はこの内水氾濫被害の軽減を目的として、排水機30 ^m ³/sec（横軸斜流・口径1800mm・ディーゼルエンジン550PS・排水量7.5 ^m ³/sec 4台）を昭和46年9月に完成させた。			
芥川は名取川と広瀬川にはさまれた仙台市街地をとり、名取川に注ぐ延長6.8km・流域面積11.8km ² ・計画高水流量250 ^m ³/secの名取川の左支川である。芥川の流域一帯は仙台市周辺の住宅化に伴い氾濫の被害が増大している。このため、蛇行の激しい在来合流点の上流2.7kmの地点に放水路を開削し、河道延長を5.7km短縮し、洪水および内水氾濫を防止するもので昭和46年に通水した。			
荒川の左支川芝川は埼玉県南の大宮・浦和・川口市等の排水を受けつつ重要な都市河川である。芝川水門は内水排除と荒川の高水時における逆流防止等の役割を果たすものであるが、現水門は大正12年に築造されたもので、近年著しい地盤沈下の影響で治水上も危険であるので、荒川改修工事の進捗にあわせて改築したものである。新水門は計画高水流量250 ^m ³/sec・純径間20m・鋼製ローラーゲート2門・敷高A.P-2.5mで施工したものである。			
田川はその源を栃木県日光市に発し、宇都宮市を経て茨城県結城市で鬼怒川に合流する右支川である。本川は、蛇行著しく無堤のため、洪水時には、とくに下流部において多大の被害を受けるので、合流点上流13.5kmの地点に計画高水量600 ^m ³/secを鬼怒川に放流する放水路を開削した。放水路は延長1.6kmで、旧川分派点に可動堰を設け維持流量を分派するとともに洪水時には旧川の水門を閉鎖し、洪水は全量放水路により処理する。これらの門扉操作は、自動連動操作により閉閉する管理設備を施工した。			
信濃川はその源を甲武信岳に発し、新潟市に至る流路延長367kmの本邦屈指の大川である。昭和の初期に頻発する災害を防止するため、下流部大津地先に計画高水流量5570 ^m ³/sec（現流量9000 ^m ³/sec）を放流する信濃川放水路を完成した。その後、昭和36年の洪水氾濫により改修計画を改定し、計画高水流量3200 ^m ³/secを分流する関屋分水路を昭和40年着工した。分水路は新潟市平島地先から直接日本海に注ぐ延長2.4kmの分水路であって、昭和46年度に一部通水をめどに工事を進めている。			
戸坂川は広島市北部を流れる一級河川太田川の左支川である。この付近は広島市の住宅地帯として急激に住宅化し、内水氾濫の被害が増している。戸坂川排水機場の計画としては、河道改修にあわせて24 ^m ³/secの内水排除を計画したが、現河道の能力等を勘案し、第一期計画として排水機12 ^m ³/sec（横軸斜流・口径1400mm・ディーゼルエンジン440PS・排水量4 ^m ³/sec 3台）を昭和46年2月に完成した。			
岩屋谷川は吉野川の河口から約37kmの地点で本川に合流している右支川であり、洪水時には吉野川本川水位の影響を受け、平地部の浸水被害を毎年受けていた。このため、内水排除の方式として、山地流域は湛水地区を経ず直接流域外に放流し、残流域の内水のみポンプで処理する計画とした。排水機5 ^m ³/sec（横軸斜流・口径1100mm・ディーゼルエンジン131PS・排水量2.5 ^m ³/sec 2台）を昭和46年5月に完成した。なお、当排水機場の樋門は、ゲート操作により自然排水と機械排水を兼用できる構造としている。			
菊池川の河口から43～44km間の七城町菰込地内は河道の蛇行が激しいため昭和38年に捷水路を施工したが、この捷水路区間に右支川鴨川が流入しているため、菊池川本川の逆流を防止するため、水門を新設することとなった。水門の構造としては、計画高水流量80 ^m ³/sec、ゲートは、幅9m・高さ5mの鋼製ローラーゲート2門で、巻上速度0.3m/minの電動式巻上設備を有している。			
知津狩川は石狩川の北部を日本海に注ぐ二級河川で、蛇行と河口閉塞の影響により沿岸流域に与える被害は著しいものがあつた。これがため、流路延長を短縮し、水位を低下させるという方針で、石狩川河口への放水路を柱とする改修計画がなされた。放水路事業は昭和40年4月に着工され、46年12月に概成し、暫定通水した。放水路の諸元はおおよそ次のとおり。流域面積40km ² ・流路延長15.2km・流水路計画高水流量140 ^m ³/sec（確率1/50）・放水路延長1900m（旧川延長3680m）・放水路河幅39m。			
本水門は、日本橋川から隅田川に通ずる亀島川の分派点にあり、合流点にある亀島川水門とて、高潮時、亀島川付近住民を外水から守るために設置した。なお、台風時亀島川の内部に貯留される水は、亀島川排水機場により排水する。これらの施設を設置することにより、関連防潮堤施工天端高が、日本橋川A.P.+5.50m・隅田川A.P.+6.40mであるが、亀島川護岸天端高は、A.P.+4.00mでよく、また、霊寿橋ほか4橋もかさ上げする必要がなくなった。			
毘陽川は、伊丹・尼崎市の市街地を流れ、沿川は住宅ならびに工場が近時めざましく増加した区域であるが、河幅が狭く屈曲がはなはだしくおそろな降雨で氾濫し、例年のように甚大な被害をうけていた。そのため改修方式として途中で捷水路を設けて藻川に分流させ、藻川の水位上昇時には、ポンプ排水することとし第一次計画としてポンプ2基を設置した。			

名 称	デ ー タ
刈谷田川中小河川改修事業 災害復旧助成事業	事業実施箇所：新潟県栃尾市・見附市・南蒲原郡 事業主体：新潟県 工事期間：昭和28.4.1～ 事業予算：93億7000万円(うち、中小河川改修37億8000万円・助成事業55億9000万円) 施工業 者名：福田組・松井組・佐藤組
迫川中小河川改修事業 (高鳥水門)	事業実施箇所：宮城県登米郡南方町 事業主体：宮城県 工事期間：昭和44.4～46.6 事業予 算：4億2000万円 施工業者名：勝村建設・石川島播磨重工業
海岸保全事業高潮対策費補助 (吉川海岸)	事業実施箇所：高知県香美郡吉川村住吉 事業主体：建設省 工事期間：昭和42.4～ 事業予 算：2億4000万円 堤防新設：ℓ=960m(1億2000万円) 堤防補強：ℓ=560m(1億円) 事務費：2000万円 施工業者名：宮田建設
千葉港高潮対策事業 (船橋市前面防潮施設・水門)	事業実施箇所：千葉県船橋市日の出町地先 事業主体：千葉県 工事期間：昭和45.4.1～49.3. 31 事業予算：3億7000万円(うち、日の出水門2億1000万円・栄水門1億6000万円) 日 の出水門：幅員12m・敷高-3.00m・天端高+5.60m・開門時クリアランス5.50m 栄水門：幅員12 m・敷高-2.30m・天端高+5.60m・開門時クリアランス4.50m 施工業者名：間組・西松建設
玉名地区直轄海岸保全事業 (玉名海岸)	事業実施箇所：熊本県玉名郡 事業主体：農林省 工事期間：昭和35.10.1～49.9.30 事業予 算：31億1000万円 堤防工：ℓ=14.6km・11工区(13億3000万円) 橋工：12か所(10億9000 万円) 内堤工その他：(3億2000万円) 工事諸費：(3億7000万円) 施工業者名：大成建設
用宗漁港海岸保全事業 (静岡県)	事業実施箇所：静岡県静岡市 事業主体：静岡市 工事期間：昭和35～49 事業予算：7億円 (昭和35～49年) 事業費：2億1000万円(昭和35～45年度) 堤防延長：昭和35～45年度 延長 3100m 計画堤防高：T.P+7.09m 施工業者名：木内建設・庄谷建設・市川土木
南股下流堰堤 直轄砂防事業 (長野県)	事業実施箇所：長野県北安曇郡白馬村北城南股入川 事業主体：建設省北陸地建 工事期間：昭和 44.6.17～46.11.1 事業予算：3億1000万円 本堰堤：高さ15.5m・長さ190.0m・体積14987 m ³ 副堰堤：高さ6.0m・長さ120.0m・体積2870m ³ その他(護岸・水叩・カーテンブロック)： 体積5417m ³ 施工業者名：大豊建設
皿器谷堰堤 (兵庫県)	事業実施箇所：兵庫県神戸市生田区 事業主体：建設省近畿地建 工事期間：昭和45.10～46.10 事業予算：5000万円 高(こう上)：5m 長さ：52m 体積：1300m ³ 施工業者名：鴻池組
西川(流路工・砂防) (新潟県)	事業実施箇所：新潟県北魚沼郡守門村大字高倉 事業主体：新潟県 工事期間：昭和42.4～47.3 事業予算：1億1000万円 流路延長：左岸5360m・右岸5860m 野面石積のり長：3.46m 野面石積平積：3801m ² 落差工：3基 帯工：5基 施工業者名：大平組
刈谷田川(堰堤工・新潟県)	事業実施箇所：新潟県栃尾市枋堀 事業主体：新潟県 工事期間：昭和41.4～46.12 事業予算： 1億2300万円 高さ：20.0m 長さ：76.5m 体積：13606m ³ 貯砂量：273000m ³ 施 工業者名：小林組
急傾斜崩壊対策 (神奈川県)	事業実施箇所：神奈川県横須賀市汐入町4丁目 事業主体：神奈川県 工事期間：昭和45.12.26～ 46.3.31 <二次> 昭和46.9.6～47.3.31 事業予算：2000万円 施工業者名：相互建設工業
鷲尾岳地区地すべり (長崎県)	事業実施箇所：長崎県北松浦郡江迎町志戸氏免 事業主体：長崎県 工事期間：昭和42.4～45.3 事業予算：3億2000万円 トンネル延長：807m 施工業者名：三扇コンサルタント
豊平峡ダム建設事業 (北海道)	事業実施箇所：札幌市定山溪 事業主体：北海道開発庁 工事期間：昭和40～47 事業予算： 84億5000万円 形式：アーチ式コンクリートダム 堤高：102.5m 堤頂長：305.0m 集水 面積：134km ² 有効貯水量：3710万m ³ 施工業者名：大成建設
石手川ダム建設事業 (愛媛県)	事業実施箇所：愛媛県松山市湯山 事業主体：建設省四国地建 工事期間：昭和41～47 事業予 算：78億円 形式：重力式コンクリートダム 堤高：87.0m 堤頂長：300.0m 有効貯水量 ：1060万m ³ 施工業者名：清水建設

概	要	特	色
刈谷田川は越後平野の中央部を流れる大河津分水下流で、旧信濃川に合流している。流域面積 239.8km ² ・流路延長46km・計画高水流量 1 550 m ³ /sec・河幅約100mの河川である。本川は、中小河川改修として昭和28年から1 050 m ³ /secで着手され継続施工中であったが、36・39年の集中豪雨により大氾濫し、沿岸住民は大きな被害を受けたので、計画高水流量を1 550 m ³ /secに改訂し、見附市より上流は災害復旧助成事業で、下流は中小河川改修事業で河積拡大・築堤護岸を実施し、ほぼ完成に近い現況である。			
追川改修事業は、昭和15年より着工され、現在約30%の進捗状況である。この水門は旧追川と小山田川との合流点に設置されたもので、旧追川の内水処理施設の一環として、逆流防止を目的としたものである。計画流量は180 m ³ /secで、15m×4mの門扉4門、被害防禦面積は2 800 haである。なお、内水排除施設としては、国営農業水利事業により、昭和45年に排水規模 15.2 m ³ /secのポンプが設置されている。			
建設省補助高潮対策事業の吉川海岸は土佐湾奥部の物部川左岸に位置し、背後の低地には、広い田畑と多くの人家を擁している。昭和42年度に着工し、46年度までには約1億円の工費をもってT.P+10.6mの堤防新設を約660m行なった。実施にあたっては、波の反射をできるだけ少なくし、前浜の減少を防ぐため、のり勾配3割の現場打枠式堤防とし、中詰には、コンクリートブロックおよび栗石を用いた。土佐湾奥部に甚大な被害を与えた45年10号台風にもびくとせず、十分にその効果を発揮した。			
船橋地区前面の千葉港高潮対策事業は昭和45～49年までの5か年計画で、海老川河口部から日の出町・栄町・西浦町の前面を既設護岸にそって市川市二俣に結ぶ防潮堤延長約2 500mの事業である。この間、日の出・栄・西浦水門および同排水機場を計画した。昭和46年度までに防潮堤約900mと日の出・栄水門が完成し、引続き日の出・栄排水機場を建設中である。当地区はとくに地盤沈下の激しい地区であり、完成後の内水位はA.P+2.00m以下に保たれることになり、高潮のピークと降雨流入量のピークが重なっても安全ように設計されている。			
農林省直轄海岸保全事業玉名地区において施工されている唐人川樋門は、周辺農地(田2 100 ha・畑200 ha・その他500 ha・計2 800 ha)、を高潮の災害から未然に防止するため海岸保全施設として新設する防潮水門である。この樋門は、河幅153mの感潮部にゲート有効幅15m×3連・7.5m×1連・計52.5mの通水部を有する水門で、常時は漁船等の出入がいつでもできるようにゲートを揚扉したままにし、台風高潮等の予想されるときはゲートの開閉操作を干渉に平行して行ない、樋門の背後地域を高潮から防護する機能を有するものである。なお、唐人川樋門関係工事費は6億4 000万円である。			
用宗漁港海岸は駿河湾に面する海岸で侵食性の激しい海岸である。本保全事業は、昭和35年度から着工し、現在までのところ防潮堤および突堤等を施工しているが、さらに越波および前浜海岸の侵食を防止するため離岸堤を計画している。			
姫川水系支川松川右小支南股入川は、水源を北アルプスの唐沢岳(2 696 m)・天狗頭(2 812 m)・八方山(1 974 m)等に発し、流域面積26.1 km ² 平均河床勾配1/4.7の荒廃河川である。とくに八方山における蛇紋岩の崩壊土砂生産はその例を見ない。また、唐沢岳一帯の風化の進んだ花崗岩とあまって流送される土砂は、松川扇状地形成の土砂生産源となり、松川流域一帯に多くの被害を与えている。南股下流堰堤は、これらの流出土砂抑止調節を目的として本堰堤が施工されたものである。			
六甲山系守治川は2回の土石流の災害により多大な被害を起した河川である。本川は、下流に神戸市を控えているため、右支川から出てくる土石流をコントロールする必要があり、そのために本堰堤がつくられた。なお、副堰堤には流木止めを設けている。			
信濃川支川魚野川支川破間川小支川の西川は、守門岳に源を発する典型的な荒廃溪流である。本川は、昭和39年7月の北陸山陰地方豪雨および昭和41年7月の集中豪雨により土砂流出および溪岸欠損で水害にみまわれた。そのため、昭和42年から工事をはじめ、47年3月に完成させた。			
刈谷田川は、信濃川支川刈谷田川守門岳北面に源を発する典型的な急流荒廃溪流である。本川は、昭和39年7月の北陸山陰地方豪雨で下流栃尾市に土砂流出をもたらした。河床の上昇著しく、41年4月から着手して46年12月完成した。工法は水衝工(Water cushion)である。			
神奈川県三浦半島一帯の地質は、泥岩・シルト岩・砂礫などの互層からなり、蛇紋岩の露頭がみられる。昭和45年5月13日、梅雨前線による集中豪雨(64 mm)が発生し、表土を含む岩体の一部がはく落し、全壊2戸の被害を受けた。なお、つづいて拡大の恐れがあったため緊急急傾斜地崩壊対策事業として擁壁工・モルタル吹付工を施工した。			
鷲尾岳地区は北松炭地帯のほぼ中央部に位置し、第3紀層内の炭層がすべり面を形成している。地すべりの発生は昭和25年で、現在までに山頂部で水平6 m・高低13 mの移動を記録している。対策工事はトンネル工を主体に排水工事を施工し、当初年間200 mmの移動が50 mm程度に減少している。防止面積は69 haで、脚部に国鉄・二級河川・国道が併行する。			
本ダムは、石狩川水系豊平川に建設中の多目的ダムであり、石狩川の洪水調節、札幌市に対する水道用水の供給および発電を目的としている。			
本ダムは、重信川水系石手川に建設中の多目的ダムで、洪水調節、松山市の水道用水の確保、および石手川北部地区畑地に対する灌漑用水の補給を目的としている。			

名 称	テ	ー	タ
早明浦ダム建設事業 (高知県)	事業実施箇所: <左岸> 高知県長岡郡本山町吉野・<右岸> 同県土佐郡土佐村中島	事業主体: 水資源開発公団	工事期間: 昭和38~47 事業予算: 298億円 形式: 重力式コンクリートダム 堤高: 106m 堤頂長: 427m 有効貯水量: 2億8900万m ³ 施工業者名: 間組
蒼社川総合開発事業 (愛媛県・玉川ダム)	事業実施箇所: 愛媛県越智郡玉川町大字竜岡	事業主体: 愛媛県	工事期間: 昭和41.4.1~47.3.31 事業予算: 37億6000万円 ダム形式: 重力式コンクリートダム ダム高さ: 56m ダム堤頂長: 260m ダム体積: 19万m ³ 施工業者名: 熊谷組
雲出川総合開発事業 (三重県・君ヶ野ダム)	事業実施箇所: 三重県一志郡美杉村字梅ヶ広	事業主体: 三重県	工事期間: 昭和40.4.1~47.3.31 事業予算: 52億円 ダム形式: 重力式コンクリートダム ダム高さ: 73.0m ダム堤頂長: 325.0m ダム体積: 332600m ³ 施工業者名: 熊谷組
今川総合開発事業 (福岡県・油木ダム)	事業実施箇所: 福岡県田川郡添田町大字津野	事業主体: 福岡県	工事期間: 昭和40.4.1~47.3.31 事業予算: 58億1000万円 ダム形式: 重力式コンクリートダム ダム高さ: 54.6m ダム堤頂長: 231m ダム体積: 182000m ³ 施工業者名: 間組
祝子川総合開発事業 (宮崎県・祝子川ダム)	事業実施箇所: 宮崎県東臼杵郡北川村大字川内名	事業主体: 宮崎県	工事期間: 昭和43.4.1~47.3.31 事業予算: 20億円 ダム形式: 重力式コンクリートダム ダム高さ: 60m ダム堤頂長: 196m ダム体積: 139000m ³ 施工業者名: 熊谷組
茂築別川治水ダム建設事業 (北海道・有明ダム)	事業実施箇所: 北海道苫前郡初山別村字有明	事業主体: 北海道	工事期間: 昭和43.4.1~47.3.31 事業予算: 8億3000万円 ダム形式: 重力式コンクリートダム ダム高さ: 21.7m ダム堤頂長: 250m ダム体積: 51300m ³ 施工業者名: 伊藤組
佐治川治水ダム建設事業 (鳥取県・佐治川ダム)	事業実施箇所: 鳥取県八頭郡佐治村尾際	事業主体: 鳥取県	工事期間: 昭和43.4.1~47.3.31 事業予算: 12億6000万円 ダム形式: 重力式コンクリートダム ダム高さ: 46.5m ダム堤頂長: 105m ダム体積: 56000m ³ 施工業者名: 熊谷組

港湾・漁港・航路標識

公共事業の港湾整備については、出入港船の増大、海上コンテナ・フェリー輸送の本格化という情勢と、大規模工業基地・海洋レクリエーション施設の整備あるいは公害の防止という新しい要請の出現に対応して、総額2兆1000億円の投資規模をもつ新港湾整備5か年計画(昭和46~50年度)を強力に推進している。

昭和46年度の港湾整備事業は、事業費1920億円で、対前年度伸び率は23.5%である。とくに重点的に実施される事業は、コンテナ埠頭・定期船バースの整備、内貿港湾・産業港湾の整備、主要航路・避難港の整備である。

名 称	テ	ー	タ
苫小牧木材港	事業実施箇所: 苫小牧市中野・勇弘	事業主体: 北海道開発局・苫小牧港管理組合	工事期間: 昭和43年~昭和50年 事業予算: 27億8000万円 泊地: 水深-10.0m・4ha 投下および整理水面: 水深-2.0m・13.6ha 水面貯木場: 第1貯木場4.8ha・第2貯木場23ha 繫船施設: 岸壁 矢板式 -10.0m 1バース 185m、繫船杭 鋼管式-10.0m 1バース 185m、物揚場 矢板式-2.0m 310m 施工業者名: 岩倉組土建・戸田建設
八戸港八太郎地区工業港 (八戸港第二工業港)	事業実施箇所: 青森県八戸市八太郎地区	事業主体: 運輸省第二港建	工事期間: 昭和39.4.~ 事業予算: 91億7000万円(昭和39~46年) 函塊製作: 寒中コンクリート養生に自動温度計使用 防波堤・護岸構造: 直立式函塊堤(47年度施工部) 函塊据付: 起重機船による。時期は春から夏(4~8月) 施工業者名: 若築建設・臨海土木・大都工業
衣浦港防波堤工事 (衣浦港高潮防波堤)	事業実施箇所: 愛知県知多郡武豊町・同碧南市碧南干拓	事業主体: 運輸省第五港建	工事期間: 昭和39.4.1~46.11.30 事業予算: 36億5000万円 総延長: 3105m(西堤1101m・東堤(I)1704m・(II)300m) 天端高: +6.0m 波高: +2.3m 高潮偏差: 2.40m 台風期H.W.L.: +2.15m 施工業者名: 大成建設・大本組・五洋建設
金沢港直轄港改修事業 (金沢港直轄事業)	事業実施箇所: 石川県金沢市大野町	事業主体: 運輸省第一港建	工事期間: 昭和46~50年 事業予算: 75億8000万円 防波堤: 700m 岸壁: -10m岸壁2バース・-7.5m岸壁3バース 浚渫: 航路泊地(-10m)550000m ³ ・泊地(-7.5m)514000m ³ ・泊地(-10m)1915000m ³ その他: 護岸(航路)850m 設計条件: 波高6.5m 施工業者名: 鹿島建設・五洋建設・東洋建設